

あらすじ

いにしへの都、大陸との交流盛んな国際都市・飛鳥。美(芸術)と権威の象徴である竜神を祀るお宮に仕える舞女たちの中で、春日野すがる乙女は一番の舞の手で大変美しい乙女でした。すがる乙女は竜神へ舞を奉納する栄誉を与えられますが、それは即ち竜神の妃となり、二度と再び地上に戻ることは出来ないということ。すがる乙女は終生を芸術の神に仕えようと心に決めるのでした。一方、幼なじみの岩足は、美しく成長したすがる乙女の舞を見て思いを抑えることができず、愛の心を伝えますが時すでに遅く、すがる乙女は竜神と共に昇天してゆきました。しかし竜の棲む深山で不意に、すがる乙女は岩足への激しい慕情にかきたてられます…。



飛鳥

A S U K A

牧阿佐美バレエ団

- 改訂演出・振付: 牧 阿佐美
「飛鳥物語」
1957年初演台本・原振付: 橘 秋子
- 音楽: 片岡良和
- 美術監督: 絹谷幸二
- 映像演出: (株)ZERO-TEN
- 総監督: 三谷恭三

- 出演:
ニーナ・アナニアシヴィリ(ジョージア国立バレエ団 芸術監督)
ルスラン・スクヴォルツォフ(ボリショイ・バレエ団 プリンシパル)
菊地 研(牧阿佐美バレエ団 プリンシパル)
牧阿佐美バレエ団
- 指揮: 福田一雄
- 管弦楽: オーケストラ・アンサンブル金沢

日時: 10月28日(土) 15:00開演 14:15開場

会場: オーバード・ホール(富山市芸術文化ホール)

チケット料金: ≪全席指定・税込≫

S席12,000円 A席10,000円 B席8,000円 C席5,000円 学生券2,000円

※未就学児のご入場はお断りいたします。※学生券(大学生以下)をお持ちの方は、公演当日、空席からお席をご用意します。
※学生券のアスネット会員割引はございません。※公演中止を除き、チケットの変更および払い戻しはいたしません。

- チケット取扱:
アスネットカウンター TEL 076-445-5511
営業時間 10:00~18:00(月曜定休/月曜が祝日の場合翌平日休み)

アスネットオンラインチケット <http://www.aubade.or.jp>
チケットぴあ TEL 0570-02-9999(Pコード 459-593)
ローソンチケット TEL 0570-084-005(Lコード 53041)

アーツナビ <https://www.arts-navi.com>、富山大和
■チケット発売: アスネット会員先行発売 7月22日(土)のみ
一般発売 8月 5日(土)

- 主催: (公財)富山市民文化事業団、富山市
- 共催: 北日本新聞社、チューリップテレビ ■協力: (一財)牧阿佐美バレエ団
- 企画制作: (公財)富山市民文化事業団、ビルボードジャパン
- お問合せ: (公財)富山市民文化事業団 TEL 076-445-5610(8:30~17:15平日のみ)

 富山市芸術文化ホール
AUBADE HALL **オーバード・ホール**
富山県富山市牛島町9-28 <http://www.aubade.or.jp>

交通のご案内
鉄道利用 富山駅下車、北口正面から徒歩2分
航空利用 富山空港よりタクシーで25分、バスで富山駅まで30分
お車利用 北陸自動車道富山IC出口から20分



飛鳥

A S U K A


牧阿佐美バレエ団

ニーナ・アナニアシヴィリ主演

日本では富山のみ上演!



2017年10月28日(土) 15:00開演 14:15開場

 AUBADE HALL

時空を超えて甦る、 圧巻のバレエ・ファンタジー。

富山オーバード・ホールだけで上演！

昨年、牧阿佐美バレエ団が創立60周年を記念して新制作した「飛鳥 ASUKA」。いにしへの日本を舞台に、和様の美とバレエを融合させ、美術には最先端のテクノロジーを取り入れた絢爛な作品は舞踊批評家協会賞を受賞するなど絶賛されました。この秋、世界的プリマを迎え、日本では富山だけで再演が決定！夢のステージをお見逃しなく！

巨匠・絹谷幸二による描き下ろしの原画と プロジェクションマッピング。

日本を代表する洋画家・絹谷幸二氏が本作のために書き下ろしたのが、「バレエ「飛鳥」に寄せて」。色彩豊かな絹谷の美術が、最新の映像技術によりステージいっぱいに広がる演出は圧巻！映像だから可能なスピード感とダイナミックなシーン展開は瞬く間に観客を作品世界へ誘います。

古代風衣裳、和の響きが融合する楽曲ー。 日本から世界に発信するバレエ。

バレエ団の創立者、橘秋子の代表作で1957年に初演した作品「飛鳥物語」が60年を経て、実娘の牧阿佐美の改訂演出・振付により甦りました。これまで数々の全幕バレエを制作してきた牧阿佐美が人生の集大成として創り上げたのは、音楽に雅楽、舞踊に舞楽の優雅さを取り入れた、世界に通用する日本のバレエ作品です。



バレエ「飛鳥」に寄せて 作：絹谷幸二

主演は世界的プリマ、 ニーナ・アナニアシヴィリ

主演の美しい舞女「春日野すがる乙女」には、世界的バレリーナとして人気を誇るニーナ・アナニアシヴィリ、パートナーにはポリショイ・バレエ団のプリンシパル、ルスラン・スクヴォルツォフが決定！古代日本が舞台のファンタジー作品への出演は、ニーナにとって新しい挑戦となる注目の舞台です。そして物語の核となる孤高の竜神には、牧阿佐美バレエ団のプリンシパルとして存在感を増す菊地研が登場します。



ニーナ・アナニアシヴィリ
(ジョージア国立バレエ団 芸術監督)
春日野すがる乙女



ルスラン・スクヴォルツォフ
(ポリショイ・バレエ団 プリンシパル)
岩足



菊地 研
(牧阿佐美バレエ団 プリンシパル)
竜神

「すがる乙女」として生き、観客とひとつに。

ニーナ・アナニアシヴィリ

「日本をテーマとした大作を踊るのは初めてです。日本が大好きなので、日本がテーマのバレエを踊れることは大きな喜びです。「飛鳥 ASUKA」は、伝説に基づいたバレエと聞いています。私たちは様々な思いを抱えて、それぞれの運命を生きています。その中で、愛という感情があるのはとても幸せなことだと思います。ダンサーにとっては、愛は創造のエネルギーで、愛があるから深い表現と踊りができるのです。「飛鳥 ASUKA」には、愛や嫉妬、死という劇的な要素がすべてあり、まるで人生の縮図。「すがる乙女」の内面を掘り下げて、私自身の内面を見せるような演技をしたい。1000年前の日本で「すがる乙女」として生きたかのように踊って、お客様が感情移入し、涙していただけるような踊りをお見せしたいです。」

